

## 指定管理者モニタリング評価シート

施設名	安曇野市豊科近代美術館
指定管理者	公益財団法人 安曇野文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
募集形態	非公募
施設所管課	教育部・文化課

評価の基準	
S	チェック項目をすべて満たしており、かつ、市が期待する水準を上回っている
A	チェック項目をすべて満たしており適切であると評価できる
B	チェック項目の一部しか満たしておらず改善が求められる
C	チェック項目を一つも満たしておらず改善が求められる
-	施設の性格上評価が不要であるもの

評価項目	チェック項目	評価*		課題・要改善事項*		
		指定 管理者	市	指定 管理者	市	
I 総則	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を従事者が理解し、利用者に周知しているか	・従事者が、施設の設置目的や施設運営上の基本方針を理解しているか	A	A		
	2 施設の管理運営を通して、設置目的を達成できているか	・提供しているサービスは、施設の設置目的に対応しているか ・設置目的に照らし、利用者が公平・公正に利用できているか	A	A	毎年度の事業計画に「運営方針」「事業目標」の項を設けて事業を実施し、事業報告において評価検証を行っている。	
	3 責任者を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か	・効率性を重視した従事者の配置を行っているか ・各従事者は、他の従事者の業務状況等を適切に把握しているか ・募集要項、協定又は事業計画書等における従事者体制と実際の体制に相違がないか	A	A		
	4 従業員の労務管理は適切か	・法定3帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が整備されているか。また、労働条件を書面で明示しているか。 ・最低賃金以上を支払っているか。また、時間外勤務の割増率(時間外25%以上、休日35%以上)を守っているか。	A	A		
	5 利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接遇態度は適切か	・名札を着用する等利用者から従事者であると分かるようになっているか ・従事者の服装は適切か ・電話の対応は丁寧で適切か ・挨拶や対応の際の言葉遣いや態度が丁寧であるか	A	A	利用者には必ず挨拶や会釈をし、場合によっては声がけするようにしている。一部名札の着用ができていない面があるので徹底したい。	名札の着用の徹底をお願いします。
	6 募集要項・仕様書に定めたとおり開館しているか	・募集要項、協定又は事業計画書等に定められたとおりに開館しているか	A	A		
II 利用者満足	1 利用者満足度調査(利用者アンケート)	・利用者満足度調査(利用者アンケート)を実施しているか ・利用者満足度調査(利用者アンケート)の結果をまとめて全従業員が情報を共有しているか ・利用者満足度調査(利用者アンケート)の結果をふまえて、指定管理業務の改善を行っているか	A	A		
III 危機管理	1 危機管理マニュアルが作成され、実効性が確保されているか	・危機管理マニュアルが作成されているか ・従事者全員が危機管理マニュアルを理解しているか ・危機管理マニュアルに従った訓練が実施されているか	A	B	災害発生時の対応の流れを、開館時間中と開館時間外・休館日とに分けて図示、非常参集時連絡網も全職員に配布し、徹底に努めている。	従業員全員への周知徹底をお願いします。
	2 地震の際の対応マニュアルが作成され、実効性が確保されているか	・地震の際の対応マニュアルが作成されているか ・従事者全員が地震対応マニュアルを理解しているか ・地震対応マニュアルに従った訓練が実施されているか	A	B	地震の際に想定される火災を含めた対応マニュアルを年2回実施の訓練のたびにに見直し改善を図っている。	従業員全員への周知徹底をお願いします。
	3 災害時の連絡体制	・地域や関連機関等との連携体制を整備しているか	A	A	市担当課及び指定管理館との連絡体制は整備されている。	接続する豊科交流学习センターと連携して防災訓練を行っている。
	4 感染症対策を講じているか	・新型コロナウイルス感染症などの感染症対策を行っているか	S	A	考え得る最善を尽くしている。	ガイドラインに則した対策を講じている。
IV 施設・設備の維持管理	1 建物・設備及び外構施設が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能が保持されているか	・目に見える損傷がなく、利用者が常に安全に利用できる状態に保たれているか。また、避難経路に障害物は置かれていないか ・発見された不具合は迅速かつ適切に処理されているか ・建物、設備の保守点検に関して募集要項、協定又は事業計画書のとおり管理が行われているか。	B	A	常に建物・設備の状況把握に努めているが、目につにくい所で施設の老朽化が進んでおり、通常の点検では発見しにくい状況が多くなってきている。	令和2年度に施設の長寿命化計画を作成し、計画的に修繕を行っていく。経年劣化が進む中、小破修理など、可能な範囲内で対応いただいている。
	2 備品が適切に管理されているか	・市の備品と指定管理者の備品を区別した備品台帳を作成しているか ・備品がすべて揃っているか ・備品に損傷がなく、良好な状態を保っているか	A	B	毎年計画的に備品整備を行い備品台帳の見直し、訂正を行ってきている。	収蔵品データベースの整備をお願いします。
	3 利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか	・清掃業務に関し、募集要項、協定又は事業計画書のとおり業務が実施されているか ・目に見える埃、土、砂、ゴミ、汚れ等がない状態を維持し、不快感(見た目、悪臭等)を与えず、衛生的な状態が保持されているか ・消耗品の補充が適切に行われているか ・清掃道具の不具合は直ちに処理し、常に適切な状態が保たれているか	A	A	3名の専属職員が日々誠実に業務に当たり、館内外の美化、消耗品等の補充に努めている。	
	4 安全で安心感ある環境を確保しているか	・警備業務に関し、募集要項、協定又は事業計画書のとおり業務が実施されているか ・鍵の管理方法が明確になっているか ・日常、館内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するよう努めているか	A	A	館長・学芸員が、朝・昼・夕と館内外の巡回を行い、事故・犯罪等の防止に努めている。	
	5 ゴミ減量等への取組は適切か	・ゴミの発生抑制に取り組んでいるか ・再利用・再使用に取り組んでいるか	A	A	ミスプリントを出さないように留意している。出てしまった場合にはコピー用紙として裏面を活用し再使用している。	
	6 浴室の管理運営に関して、法令の規定を遵守し、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか	・浴室の衛生管理業務に関し、募集要項、協定又は事業計画書のとおり業務が実施されているか ・塩素濃度等の測定を適切に行っているか ・レジオネラ菌等への対策適切に行っているか	-	-	浴室なし	

評価項目	チェック項目	評価*		課題・要改善事項*		
		指定 管理者	市	指定 管理者	市	
V 運営業務及びサービスの質の向上	1 利用料金等の減免対応	・減免内容は適切か	A	A		
	2 利用者が利用しやすい受付案内をしているか	・受付窓口が明確になっていて、利用者に不便をかけていないか ・必要に応じて電話やホームページ、各種資料等により利用者からの問い合わせに対応できるか	A	A		
	3 すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか	・必要に応じてサービスの情報や施設利用案内を記載したパンフレット・掲示物を作成しているか ・広報誌やPR誌を作成するなど積極的に広報・PR活動を実施しているか ・必要に応じて見学などの希望に対応しているか	A	A		
	4 個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか	・施設のサービス水準を確保するため、標準的な業務実施手順や注意点等がわかりやすく明文化(マニュアルの作成等)されているか ・全従事者が一貫した認識を共有した上でサービスを提供しているか ・従事者の意見を取り入れながら、標準的な業務実施手順等を適時見直しているか	A	A	サービス水準維持のため、朝礼を行ったり、必要に応じて連絡会をもったり、確認のための文書を配布したりして、一貫した認識を共有できるようにしている。	
	5 個人情報の保護に対する体制が整っているか	・個人情報を取得する際には必要な範囲内で適切な手段で取得し、目的以外に使用していないか ・個人情報の取り扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、管理責任者が特定されているか ・個人情報の漏洩、滅失、き損及び改ざんの防止、その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じているか ・必要に応じて、個人情報の取り扱いについての研修を実施しているか	B	B	安曇野市の諸規則に準じて対応しているが、個人情報のマニュアル整備、取り扱い研修等、更なる改善を図る必要がある。	個人情報の取り扱いについての研修の実施をお願いします。
	6 事故防止のための体制の構築・取組を行っているか	・事故防止のチェックリストや事故防止・事故対応マニュアル等を整備しているか ・過去に発生した事故の内容や対応内容をもとに、原因分析を実施し、改善のための対応策を行っているか ・事故防止策の研修を実施しているか	A	B	毎年の防災避難訓練の折に、消防署職員によるAED操作訓練を職員対象に行っている。	事故防止策の研修の実施をお願いします。
	7 利用者の意見や苦情を把握できる環境を整備しているか	・利用者が苦情や意見を述べやすいような窓口(ご意見箱の設置、ホームページでの受付等)を設置しているか ・利用者からの苦情や意見等が寄せられた際には内容を記録するなど、苦情等への対応手順、担当者等が明確にされているか ・利用者からの苦情や意見に対して行った改善点を公表しているか	A	A		
	8 施設活性化のための創造事業(自主的な事業)を適切に実施しているか	・施設活性化のための創造事業に関して、募集要項、協定又は事業計画書のとおり実施されているか ・定期的に施設活性化のための創造事業の見直しを実施し、利用者のニーズを反映しているか	A	A		
VI 地域との連携	1 地域や地域住民との交流・連携への取り組み	・必要に応じて地域住民、区、公民館等と情報交換を行うなど地域の意見や要望を尊重しているか ・近隣の他施設と連携し、情報交換を行っているか	B	B	ハラ園は地域に愛される憩いの場となっているが、地域の意見・要望等の受け入れ、情報交換等には課題がある。	
	2 市民を積極的に雇用しているか	・施設の従事者として市民を積極的に雇用しているか	A	A		
VII 収支状況	1 管理経費の執行状況	・適切な経理書類が作成されているか ・経理を担当する従事者を設置しているか ・収支決算書に記載されている項目に関し、伝票が存在するか ・通帳や印鑑等が適切に管理されているか ・経理書類の作成にあたっては税理士等の専門家の指導・助言を受けているか	A	A		
	2 指定管理者申請書で示した収支と実績は合致しているか	・指定管理者申請書の収支計画と実績は大差ないか ・指定管理者申請書の収支計画と実績に差が出た場合に、その原因を把握して必要な対策をとっているか	A	A		
コメント*	指定管理者 上記評価項目以外の事項で、特記事項(施設独自の工夫など)や改善すべき点について記載	安曇野市の基幹美術館として、春・夏・秋・冬と4回の特別展、企画展を実施している。春の特別展では、池田町を拠点に国内外で活躍している若手現代美術作家の千田泰広を取り上げ、シンプルな素材と緻密な技で新たな現象を生み出すインスタレーション作品の展示を行った。開催期間中6,000名を超える入館者があり、入館者からは「千田泰広の光と闇のおりなす世界と美術館のコラボレーションがとても面白く美しかった。」「すっかり千田さんのファンになってしまいました。もっとこういった現代アート展を行ってほしい。」等の声が数多く寄せられた。また、「大変良かった」と感想を記した方が96%を占め、入館者の満足度が大変高かった。今後も、地域の人々の多様な文化的ニーズに応えるために、近現代の魅力的な美術を幅広く取り上げ紹介することとおして、地域の芸術文化振興に寄与していきたい。				
	施設所管課	・コロナ禍の中での来館者サービスとしてWEBを介して動画配信をするなど、積極的な発信を行っている。 ・毎月、所管課担当者を交えた会議を持ち、事業や改善点の報告を受けたり予定の調整等を行っている。 ・安曇野ゆかりの芸術家について調査研究を進め企画展を行っており、郷土作家の顕彰に努めている。 ・中学高校美術部展など地味で入館者数や入場料収入の増加に結びつかない企画についても、積極的に取り組んでいただいている。今後もこのような事業を展開していただきたい。 ・長野県文化振興事業団の事業等、外部団体との事業協力をしている。 ・展覧会の開催にあたって、独立行政法人 日本芸術文化振興会や文部科学省・文化庁等の助成を得ることなどについても検討していただきたい。 ・安曇野市文化振興計画に沿った事業の展開をお願いします。				

\*コミュニティ施設については評価、課題・要改善事項の記入及びコメントの記入とも市のみ